

全 仏

NO. 219

7 / 51



自然へ帰ろう

今年も大勢の人が海や山へ出かけよう。都会人ほど自然にそこがれてはいるが、彼等が真に自然を愛しているかという大いに疑問である。

四季の変化にめくまれたこの島國に住む日本人は、昔から自然をこよなく愛してきた。日本語には季節感覚を表現するすばらしいことばが多くあり、季節の複雑な変化が、日本人の感覚に与えた影響を見逃すことはできない。そして季節の変化に対するこまやかな感覚は、同時に、人間と人間との結びつきにも深い影響を与えて来たのである。

自然そのものは昔も今も変わらないのだが、それを愛した日本人はどこへ行ってしまったのか。無限の美をたたえる日本の大自然は、再び日本人が愛してくれる時をじっと待っているのだ。(規)

写真はロスアンゼルスの西本願寺
別院で同地仏教会と全仏訪米団と
の合同法要 Ⅱ二面記事参照Ⅱ

アメリカ仏教会の印象

来馬 規雄

一七七六年七月四日、新生の米国は、英国の圧力をはねのけ、ついにこの日歴史的な「独立宣言」を大陸議会（Continental Congress）において採択した。その冒頭のことば「すべての人は生まれながらにして平等であり、神から授けられた固有の権利をもつ云々」は、この若く自由な国の建国の精神である。特に、人間の平等と権利が、神から授かったものだという認識は、我々も、今のアメリカの若い人たちも、決して忘れてならないことだと思ふ。

今、米国の仏教界（本土もハワイもその七割前後は西本願寺系の寺院で、他の三割がその他の宗派で占められている）は、三世、四世の時代となり、若い人は日本語がよく理解できない。したがって布教も英語を通じておこなわざるを得なくなっているが、仏教の教理を英語で説くことにはいろいろの難点がある上、今の若い人が宗教への関心がうすいことは米國として例外ではない。キリスト教会へ集まる人もその大半は老人であるようだ。今、米国における仏教布教は、大きな曲り角にさしかかっている、というのがこの国の建国二百年を記念して訪米した我々仏教使節団一行の印象であった。

仏婦はブラジルへ

仏教徒を親善訪問

全日本仏教婦人連盟理事長 山本 杉

全日本仏教婦人連盟では、ブラジル仏教徒との親善をはかるため、五月十七日出発、サンパウロ、リマ、ロスアンゼルスなどを訪問、六月二日無事帰国した。

この眼で見、この膚で感じたブラジルは、都市である限り申し分のない近代文明の国であった。しかしそこにひそむ宗教事情は以外というほどに冷たく心に迫ってくるものがあった。それは二世三世と世代を重ね、ブラジルの近代国家建設に、その高い知性と勤勉性をかわれ、ブ

ラジルの繁栄に参加する日系市民が、祖國の仏教をどのように受けとめているかという第一の課題がみごとに打ちひしがれたからで、四世を含めるその殆んどがカトリック教徒ということであった。

冷たい仏教への反応

また今回の旅のハイライトともいいうべきサンパウロでの、仏教信者の家に泊まり、今日までの苦勞、成功された姿、そして信仰深い生活ぶりにふれるという計画はすばらしかったが、現実はやはりカ

トリック教徒との対面であった。私の泊めてもらった曹洞宗の婦人会長をやっておられる村上さんのお宅でも、会長さんは得度して、合同法要に出ておられるほどのお方であるが、息子さんは合弁企業業の重役、夫人は二世、お孫さん二人は大学生で、全員がカトリックである。「私はお寺に奉仕することだけが楽しみです」と静かに語られた短かい述懐が、何んともいえぬ淋しさを伝えた。

ある日乗り合せた個人タクシーの運転手に仏教信者ですかと尋ねたところ、「勿論ですよ、だからお寺の仕事をさせてもらっているんですよ」という。しかし家族はと質問すると、それがカトリックですという答えだった。やれやれどこへいってもカトリックである。

小中学校の宗教教育

小中学校には週一回宗教の時間があった、他宗（プロテスタント、仏教など）の子は届けを出してそれに出ず、家庭で宗教教育を受けるようにとの達しなのに親は無届けで欠席させる。学年末に無届け欠席の理由で進級できないと申し渡されるから、親はなんとか進級できるようと頼みにゆくと、「これからは宗教の時間に出ること、洗礼を受けること」を条件に許しがでるといった具合で、二世三世は皆カトリックにとられてしまうという。勝組負組のいざこざがまだ尾を引いているブラジルの日本人社会ではうなずかれる話である。

開教師の努力に感嘆

一九三三年にセツツリオ・ベルガス大

統領がカトリックを国教と定めて以来、歴代の大統領によって緩慢はあっても、仏教の排斥は信教の自由を認めながらもいろいろなたラブルを経て今日に及び、開教師の方々の御苦勞は思いの他に深刻なものを受取られた。現在、東西本願寺・曹洞・浄土・日蓮・真言などの寺院があり、それぞれ立派な伽藍を建立し、必死の教宣活動をくりひろげておられる。ことにその夫人が婦人会組織をもち、華道・茶道を中心に教宣活動の実体をにぎり、仏教興隆に大きな力を發揮していることに感嘆した。

宗派意識が強い

僧侶は全国に五十一人（二世）、その他に二世を含めた外人僧三十六人とはいだが、この日本人僧の手により五・六年前から土葬廃止、火葬になった制度のもと寺院経営が行なわれていた。しかし宗派意識は強く、融和の困難さを感じる。一九五八年に仏教連合会ができ、合同の行事も行なわれるようになったが何かにつけ宗派の利己主義がでるようだ。

新しい仏教の芽

ただ特筆すべきは、ブラジルに新しい仏教の芽が育ちつつあるということである。大学生が中心に熱心に坐禪をつけ、禪を通して釈尊中心の仏教を体得した人々が、社会人となって仏教的行事などの背景に大きな影響を及ぼしていることである。日本人の宗教はなれ、という言葉とはうらはらに私のつかみ得たよるこびであった。

（ブラジル訪問団団長）

50年度 全日本仏教会の事業報告

一、加盟仏教団体相互の連絡・提携をよび親睦

- 50・4・15 融通念仏宗管長晋山祝電
- 4・19 神奈川県仏税務講習出席
- 4・20 知恩院御忌法要出席
- 4・23 千葉県仏總會出席
- 4・28 監査会
- 4・30 日本仏教續仰会花まつりに供花
- 5・3 東京本願寺藤まつり出席
- 5・15 理事会
- 5・16 培仏会館落慶式出席
- 5・17 仏教保育協会總會祝電
- 5・17 大谷派新々門得度祝賀会出席
- 5・19 成田山光輪閣落慶参拝
- 5・22 中山法華経寺晋山式出席
- 5・24 築地本願寺誕八慶讃法要出席
- 5・30 評議員佐久間師(静岡)本葬弔電
- 6・15 智積院金堂落慶式出席
- 6・20 永平寺副貫首就任祝賀会出席
- 7・11 日本仏教續仰会都民お盆まつり後援
- 8・3 念法真教開教五十周年慶讃法要出席
- 8・6 原爆・万国戦争犠牲者追善法要出席
- 8・19 高知県仏へ水害見舞打電

- 9・9 東日本詠歌連盟大会出席
- 9・18 智山派管長晋山式出席
- 9・19 常務理事会
- 10・7 法華陣門流晋山本葬打電
- 10・9 永平寺本葬出席
- 10・10 永平寺晋山式出席
- 11・18 埼玉県仏役員会出席
- 11・19 印度日本寺法要閉結団式(智山派)出席
- 12・5 醍醐派前座主本葬弔電
- 12・8 東京都仏成道会出席
- 12・8 東京フテイストクラブ成道会出席
- 12・18 天台宗前座主本葬出席
- 12・22 常務理事会
- 宗務総長会
- 51・1・9 埼玉県仏新年会出席
- 1・19 宗務総長会
- 1・23 仏扇修正会出席
- 1・29 理事会、評議員会
- 2・3 新年懇親会
- 2・3 山梨県仏創立十周年大会出席
- 2・6 高野山真言宗前管長遷化弔電
- 2・11 岩手県仏会長本葬弔電
- 2・15 涅槃会出席
- 3・8 日蓮宗管長就任祝賀出席
- 3・8 戦争殉難者追悼法要出席
- 3・10 震災・戦災慰霊法要供花

二、仏教教化運動の総合的企画・促進

- 10・18 国際専門委員会
- 10・1 第23回全日仏兵庫大会
- 9・5 人口問題調査委員会
- 8・29 英語によるセミナー援助
- 8・9 時局対策委員会
- 7・23 東北ブロック会議
- 7・1 人口問題調査委員会
- 6・5 人口問題調査委員会
- 6・2 関東申信越静ブロック会議
- 50・5・6 国際専門委員会
- 3・16 仏教伝道文化賞贈呈式
- 3・9 WCRP研究集会出席
- 3・9 協議会出席
- 2・25 日宗連・幼稚園問題研究
- 2・9 自洽庁・都庁訪問
- 51・2・9 自洽庁・都庁訪問
- 11・20 庭野師古稀祝賀会出席
- 11・29 自民党結党二十周年パーティール出席
- 11・10 日本を守る会出席
- 11・19 自民党打合せ
- 6・12 仏教伝道文化賞贈呈式
- 5・28 尼僧法団二十五周年式典
- 4・26 WCRP委員会出席
- 4・26 WCRP委員会出席
- 51・3・11 「花まつりボスター」・「全一仏教聖典」の普及
- 8・25 日本仏教文化会議
- 51・3・11 文化専門委員会
- 5・4・21 文化会議運営委員会
- 5・13 文化専門委員会
- 6・9 各宗派教化担当者会議

- 11・15 組織
- 11・18 時局対策委員会
- 50・5・25 WFB本部ウエサカ参加
- 6・24 パングラ仏教孤児院へ第一回寄付贈呈
- 8 中国仏教会へ会長メッセージ(JC訪中に際し)
- 12 パングラ仏教孤児院へ第二回寄付贈呈
- 50・5・26 WFB常任委員会出席
- 11・5 WFB日本大会開催に関する答申書
- 12・4 WFB常任委員会出席
- 51・2・19 第11回WFBタイ大会
- 3・26 WFB日本大会準備世話人推薦
- 50・5・8 広徳比丘追悼会出席
- 6・9 訪ソ仏教団歡送会出席
- 7・29 報告会出席
- 8・2 中華仏教会歓迎会
- 10・22 印度保育施設設立委員会
- 12・1 印度仏跡巡拝団派遣
- 12・7 ブタガヤ第一回結集参加
- 51・2・19 スリランカ訪問団派遣
- 2 ポロブドール訪問団派遣
- ソナ・カンティ・バルア 師留学引受に援助

- 7、仏教および仏教徒による国際親善および文化交流の促進
- 50・5・8 広徳比丘追悼会出席
- 6・9 訪ソ仏教団歡送会出席
- 7・29 報告会出席
- 8・2 中華仏教会歓迎会
- 10・22 印度保育施設設立委員会
- 12・1 印度仏跡巡拝団派遣
- 12・7 ブタガヤ第一回結集参加
- 51・2・19 スリランカ訪問団派遣
- 2 ポロブドール訪問団派遣
- ソナ・カンティ・バルア 師留学引受に援助

昭和50年度財団法人全日本仏教会歳入歳出決算書

歳入

予 算 額 金41,950,194円
決 算 額 金40,622,430円

歳出

予 算 額 金41,950,194円
決 算 額 金37,616,693円

歳入歳出決算剰余金 金 3,005,737円

監査の結果証憑も完備し収支が適正に行われていたことを認めます。

昭和51年4月27日

監事 久保 堃太清 (印)
監事 船 口 暉子 (印)
監事 植 松 威 (印)

歳入の部

科 目			予算額	収 入 済 額	対 予 算	
款	項	目			収入超 過 額	収入未 済 額
1. 負担金			38,267,000	36,698,000		1,569,000
	1. 各宗派 負担金		34,168,000	33,530,000		638,000
	2. 各団体 負担金		4,099,000	3,168,000		931,000
2. 寄付金			200,000	200,000		
3. 未納 徴 収 金			500,000	515,000	15,000	
4. 基金果 実			990,000	1,001,220	11,220	
5. 雑 収 入			400,000	615,016	215,016	
6. 繰 越 金			1,593,194	1,593,194		
歳 入 計			41,950,194	40,622,430		1,327,764

歳出の部

科 目		予算額	支出済額	予 算 不 用 額
款	項 目			
1. 事務総局 費		24,482,000	23,779,252	702,748
	1. 人件費	15,002,000	14,594,775	407,225
	1. 職員俸給	6,984,000	6,927,287	56,713
	2. 諸 給	6,249,000	6,173,547	75,453
	3. 厚生費	769,000	493,941	275,059
	4. 退職積立 金	1,000,000	1,000,000	0
	2. 事務費	4,140,000	3,968,150	171,850
	1. 借館借室 費	1,440,000	1,440,000	0
	2. 通信費	1,300,000	1,260,722	39,278
	3. 消耗品	200,000	186,770	13,230
	4. 光熱費	250,000	210,839	39,161
	5. 備品費	300,000	257,500	42,500
	6. 印刷費	400,000	396,443	3,557
	7. 諸雑費	250,000	215,876	34,124
	3. 旅 費	1,500,000	1,488,780	11,220
	4. 関西事務 局費	1,700,000	1,700,000	0
	5. 渉外費	2,140,000	2,027,547	112,453
2. 総務局費		3,850,000	3,548,065	301,935
	1. 会議費	1,550,000	1,297,624	252,376
	1. 理事会費	270,000	173,538	96,462
	2. 評議員会費	300,000	299,100	900
	3. 各種委員 会費	380,000	285,870	94,130
	4. 諸会議費	600,000	539,116	60,884
	2. 共通事項 処弁費	2,000,000	1,953,381	46,619
	3. 調査研究費	300,000	297,060	2,940
3. 組織局費		4,300,000	4,087,000	213,000
	1. 組織強化 費	3,900,000	3,858,840	41,160
	1. 組織強化費	1,000,000	977,460	22,540
	2. 国内仏教 徒会議費	2,900,000	2,881,380	18,620
	2. 時局対策 処理費	400,000	228,160	171,840
4. 国際文化 局費		6,600,000	6,107,376	492,624
	1. 国際運動 費	2,550,000	2,539,281	10,719
	1. WFB関係費	1,500,000	1,500,000	0
		650,000	650,000	0
	3. 国際渉外費	400,000	389,281	10,719
	2. 文化会議 費	1,400,000	1,192,675	207,325
	1. 文化会議費	720,000	716,675	3,325
	2. 紀要作成費	680,000	476,000	204,000
	3. 教化費	250,000	227,100	22,900
	4. 機関紙発 行費	2,400,000	2,148,320	251,680
5. 雑 費		100,000	95,000	5,000
6. 予 備 費		2,618,194	0	2,618,194
歳 出 計		41,950,194	37,616,693	4,333,501

暑中御見舞い申し上げます

浄土宗宗務所

浄土門主 岸 信宏
 宗務総長 稲岡 覚順
 総務局長 梶原 重道
 教学局長 古屋 道雄
 財務局長 水谷 激道
 社会局長 飯田 信弘
 嘱託 山口 諦存
 総長公室長 無垢品 導生
 宗務支所長 野村 宗春
 宗務支所次長 長尾 賢導

京都市東山区林下町四〇〇
 〒605〇七五(五四一)七三三

真言宗中山寺派

大本山中山寺

宝塚市中山寺一の十一の一
 〒665〇七七(八六六)六五一七

真言宗智山派宗務庁 総本山智積院法務所

管主 芙蓉 良順
 宗務総長 別所 弘因
 寺務長 小沢 照禧
 総務部長 岡田 昌道
 教学部長 岡本 実良
 法務部長 齋 隆套
 教化部長 齋 隆套
 出張所長 小宮 勝憲
 別院執事

京都市東山区七条東瓦町九六四
 〒605〇七五(五四一)五三六一

財団法人

日本仏教鑽仰会

理事長 中山 理々

東京都千代田区内神田二五六
 亀田ビル内
 〒101 〇三二(二五六)四九一一

浄土宗西山 深草派宗務所

管長 野々山 龍全
 宗務長 山本 勝隆
 総務部長 祖父江 慶徳
 教学部長 鶴 銅慶範
 事業課長 杉田 昭三
 庶務課長 長谷川 観雄

京都市中京区新京極桜之町四五三
 誓願寺内
 〒604〇七五(一三二一)〇九五八

近代仏教研究会

代表 壬生 照順

事務局長 小室 裕充

東京都台東区元浅草一十七二
 華蔵院内
 〒111 〇三三(八四四)三六四八

融通念仏宗 大本山 大念仏寺

法管主 本 靈禅山
 宗務総長 荻元 明信
 参務部長 倍 巖良舜
 教学部長 池 嶋得宝
 参務部長 栗山 良全
 庶務部長
 財務部長

大阪市平野区平野上町一七二六
 〒546 〇六(七九二)〇〇二六

聖観音宗

金龍山浅草寺

管長 清水谷 恭順

宗務総長 壬生 台舜

東京都台東区浅草一三三十一
 〒111 〇三三(八四二)〇一八一

暑中御見舞い申し上げます

真言宗御室派 総本山仁和寺

京都市右京区御室大内三三三
〒616 〇七五(四六一)一一五五

真言宗豊山派宗務所

管 長 鳥居敬誉
 宗務総長 浅井堅教
 総務部長 中川祐俊
 財務部長 久保埜太清
 教務部長 田中文盛
 教化部長 吉田俊誉

総本山長谷寺
 東京出張所長 門屋大寿

東京都文京区大塚五一四〇一八
〒112 〇三(九四五)〇六三九(代)

豊島区仏教会

会長 来馬道英

東京都豊島区巢鴨五三三十五
白泉寺内
〒170 〇三(九一七)二二二五

臨済宗妙心寺派

管 長 梶浦逸外
 宗務総長 江西寛堂
 総務部長 後藤純一
 教学部長 竹中玄鼎
 財務部長 梶田泰賢
 花園会本部長 原英嶽
 法務部長 渡辺琢山

京都市右京区花園妙心寺町
〒616 〇七五(四六三)三二二一

真理運動

主管 友松諦道

東京都千代田区外神田
三十四一〇 神田寺
〒101 〇三(二五一)八六八三

社団法人

全日本仏教婦人連盟

会 長 大谷智子
 副会長 一条智光
 “ 岡野貴美子
 理事長 山本 杉
 事務局長 船口暉子

事務局

東京都世田谷区楼上水四一九一七
〒156 〇三(三〇二)一五九八

念法真教教団

総本山金剛寺

灯 主 小倉靈現

大阪市鶴見区緑三十四一三二
〒538 〇六(九〇二)二二〇一

孝道教団

大統理 岡野正道
 統 理 岡野正貫
 副統理 岡野貴美子

横浜市神奈川区鳥越三八
〒221 〇四五(四三三)二二〇一

暑中御見舞い申し上げます

神奈川県仏教会

総裁 岩本勝俊
会長 貝山宣泰

副会長 小沢省元

柴田敏夫

小崎竜雄

安藤文雄

事務局

鎌倉市小町二丁目二二二
本覚寺内
〒248 〇四六七(三三)〇四九〇

真言宗国分寺派

大本山国分寺

管長 西口公教
宗務総長 近藤彰範

大阪市大淀区国分寺町四
〒531 〇六(三五八)〇九九六

大阪府仏教会

会長 西口公教
(国分寺)

副会長 鴛地一隆
(本照寺)

井上文克
(妙信寺)

事務局長 川口良信
(全興寺)

事務局

大阪市大淀区国分寺町四一
国分寺内
〒531 〇六(三五二)五六三七

財団法人

国際仏教興隆協会

名誉総裁 大谷光暢
会長 賀屋興宣
理事長 巖谷勝雄
役員 一同

東京都目黒区中目黒五丁目一五三
祐天寺内
〒153 〇三(七一一)七六〇八

梵人会

主幹 河合智海
副主幹 吉田昭炳

金沢市東山二丁目一四一三三
玄門寺内
〒920 (五二一)六七六一本部
(四九九)四四五四事務局

茨城県仏教会

役員 一同

(本部)
茨城県多賀郡十王町友部一九九〇
法龍院内(真言宗豊山派)
〒319-13 〇二九三(三三二)二〇五一

茨城県仏教会長

大越孝仁

株式会社

千代田トラベル

取締役社長 織内七郎

東京都港区南青山五丁目一六一〇
千成ビル内
〒107 〇三(四〇七)三六一二

WFB加盟センターの近況

「ビルマ仏教対話会」

世界仏教徒会議第十二回日本大会実現にむけて、WFB加盟の世界各国のセンターに、そのセンターの活動報告、仏教事情、歴史などを「全仏」誌に紹介したい旨連絡をしたところ、その第一号としてビルマ国マンダレイ市の仏教対話会より返事が寄せられた。その後、米国仏教団、香港仏教会、大韓民国曹溪宗などより返着しているので逐次掲載したい。



R・L・ソニ会長

仏教対話会是世界仏教文化研究所の後身でビルマのマンダレイ市

C通、ソニ・ビルディングにあります。第二次世界大戦後の苦難と道徳の混乱は一九四六年マンダレイに海外仏教伝道会を生み出しました。R・L・ソニ博士を出資者に、ローカナタ師を国際仏教徒として、一九四七年から五年にかけて世界仏教調査を行いました。伝道会はその実践的結論として、世界仏教文化研究所を生みました。研究所の活動は地域的、国家的、国際的に広い分野にわたりました。一九六四年にいくつかの理由に

より、活動は仏教対話会のみに限られることになりました。対話会はただちに研究所がそうであったように世界仏教会(WFB)の地域センターとして認められました。

当センターは三つの原則のもとに活動しています。即ち、仏教理解を容易ならしめる、その実践を広げる、仏教徒及び非仏教徒間の善意の橋をかける、の三つです。また当センターはその社会的、文化的また人道的活動によっても知られています。更に布教の分野でも名をなし、また仏教への誤解に対し、文書による抵抗も行いました。布教調査はインドとビルマで行なわれ、多くの出版物が発行されました。かくて仏教はB・R・アンベドカル博士を含む多くの人の注意をひくところとなり、博士の仏教への改宗は約五百万の人々を仏教に引き入れました。仏教対話会は独自の方針と方法を生み出しました。それは定例会、臨時セミナー、諮問委員会をしてレセプションを通じて仏法の普及のために果にうまく働きその結果、仏教の理解や実践に関する種々の問題がたくみに解決されました。仏教対話会は現在少々活動を停止していますが、我々は将来については大変楽

観的です。当会会長R・L・ソニ博士は会をインドに移し、仏教活動を世界的規模のものにしようと考えています。ソニ博士が一九三三年に仏教徒となったのはイタリア人の仏教伝道師故ローカナタ師を通じてです。以来氏は仏法の広布に多忙でした。マハボディ・ジャーナルは彼の仏法に対する四十年間の奉仕を記念して「ソニ博士号」の名で一九七五年一月より三月に特集号を出しました。当地においては仏教対話会と他の団体、例えばビルマ仏教協会や中央仏教連合等と協調の精神をもって、仏法の為に素晴らしい活躍がなされていることは特筆に値します。

一九七六年五月十一日
仏教対話会主任 ミス・スジャヤ

事務総局録事(六月)

- 一日 仏教親善訪米団第一班出発
- 二日 〃 第二班出発
- 三日 埼玉県仏打ち合せ
- 十日 WFBマスタープラン委員会訪米団第一班帰国
- 十一日 〃 第二班帰国
- 十五日 WFB世話人会
- 十六日 局内会議
- 二十一日 タイ宗教局長来局
- 二十一日 WFB世話人会起草小委員会
- 二十三日 〃 財政小委員会
- 二十九日 救ライ協会仏像奉安式出席
- 三十日 局内会議

寺院用具

浅草通り五鳳会加盟店

株式会社 決田商店

東京都台東区寿2-10-9 (地下鉄田原町駅前)

電話 代表 (481) 4965

全国総発売元
 (印度直輸入品) (線香・白檀・沈香・ホダイ樹の葉)
 (御香・ローソク) (線香・おみくし線香)
 (線香) (ローソク) (完全燃焼器) (安全焼香台) (駄線香)

各大本山御用達

法衣・装束 東洋美術 贈答用記念品

資合 梅金商店

<〒460> 名古屋市中区大須三丁目39番33号
 (大須交叉点東北側)
 TEL <052> 名古屋241-0901 (代表)
 振替口座 名古屋1110番・東京5741番

取引銀行
 東三友 銀行 上野 銀行 大前 銀行 支店 第一 勸業 銀行 大須 支店
 海井 銀行 上野 銀行 大前 銀行 支店 第一 勸業 銀行 大須 支店
 三友 銀行 上野 銀行 大前 銀行 支店 第一 勸業 銀行 大須 支店

歴史編・専門用語解説編まで加えた

「日本の葬儀」

B 5
530頁



グラビア多数入り

日本で初めての試みである
古代から現代までの葬儀全集

一般書店で販売せず直接購読者のみ頒布

● 定価九、八〇〇円（送料別）

この「日本の葬儀」の特徴は北は北海道から南は沖縄に至るまで、日本全土を縦断完全踏査し、地方別の現代葬送の風習・習慣をくまなく網羅したことにある。即ち、納棺―通夜―葬儀―埋葬という縦糸と、風習、風俗、習慣を横糸として織りあげた完全蔵書といえる。

株式会社 冠婚葬祭新聞社

振替口座 東京一六八一五二番
東京 03 (三五二) 八九四六

〒160 東京都新宿区番冢町6 ローズビル2F

昭和五十一年七月一日発行
七月号 第二一九号

発行人 来馬 正雄
編集人 来馬 正雄

発行所 財団法人 全日本仏教会

東京都台東区西浅草一ノ五ノ五（東京本願寺内）
電話 〇三（八四三）六三四一、三